

あたりまえの子ども期をどの子にも — 制度研山梨大会特集号 —

今を生きる子どもたちの学びの保障のために、学校と地域
ができること・するべきことは何か。

国の教育改革が進む中で、学校事務職員を含めた学校に集
う多く人が、子どもたちのためにできることを自分なりに考える
ヒントがあるかもしれません。



記念講演

「次世代の学校」が描く子ども像
～そして学習権を保障する
学校事務職員像～
中田康彦さん(一橋大学)



注文はこちらへ

- <http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/>
(「制度研」で検索できます)
- E-mail seidoken@ha.bekkoame.ne.jp
- 〒194-0045
東京都町田市南成瀬4-13-10
植松直人 方
TEL 090-9675-1067 FAX 042-728-1616



分科会

1. 子どもの権利と就・修学保障
2. 学校のお金と学校事務職員
3. 安心安全な学校環境づくり
4. 学校づくりをみんなの手で
5. 学校の今と学校事務職員制度

テーマ別学習会

- A. “町づくりと無償教育”
～「学校があって地域が存在する」
「地域があるから学校が存る」～
- B. 医療の現場から
～医療ソーシャルワーカーのとりくみ～

その他の内容

- レポート集(会誌)を活用して
- 基調提案
- 大会に参加して
- 水上大会をふりかえって
- 来年度開催に向けて

会誌とレポート集セットで いかがですか

140号と大会レポート集セット
送料無料で1,500円

2019年1月発行
A4判 56ページ
500円 (送料90円)

編集・発行 全国学校事務職員制度研究会